

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 東亜建設工業株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 1885 URL <https://www.toa-const.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 優樹
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 木村 徹也 (TEL) 03-6757-3821
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	82,639	△1.5	3,294	△6.2	3,765	14.8	2,443	22.0
2020年3月期第2四半期	83,876	17.8	3,511	259.3	3,279	232.7	2,002	289.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,000百万円(28.2%) 2020年3月期第2四半期 2,339百万円(167.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	124.63	104.66
2020年3月期第2四半期	95.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	197,245	71,186	35.7
2020年3月期	202,657	69,166	33.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 70,449百万円 2020年3月期 68,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,000	0.4	6,800	△14.5	6,900	△9.3	4,500	△10.1	229.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	22,494,629株	2020年3月期	22,494,629株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	2,887,187株	2020年3月期	2,891,072株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	19,605,499株	2020年3月期2Q	20,899,750株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)	11
(1) (要約) 四半期個別貸借対照表	11
(2) (要約) 四半期個別損益計算書	14
4. 補足情報	15
(1) 2021年3月期第2四半期累計期間の個別売上高・受注等の概況	15
(2) 2021年3月期通期個別受注予想	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による経済活動の停滞等、景気は厳しい状況にあります。今後の先行きについても、引き続き国内外の感染症の動向による経済への影響に注視が必要な状況が続いております。

建設業界におきましては、国内実体経済の落ち込みによる民間建設投資の減少が懸念されるものの、政府建設投資は引き続き堅調に推移しております。一方、海外においては、国によっては政府による統制や出入国の制限等により、工事の継続に支障をきたす状況にもなっております。

このような状況下、当社グループは事業構造の変革を基本方針とする中期経営計画（2020～2022年度）を着実に推進し、継続的な変化と成長を続けてまいります。

また、地盤改良工事における施工不良等の瑕疵修補に係る工事は着実に進捗しており、当工事を一日も早く完遂させ、施工者としての責任を全うすることに全力を注ぐとともに、引き続き再発防止の取り組みを継続的に実施していくことにより、信頼の回復に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は82,639百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は3,294百万円（前年同四半期比6.2%減）、経常利益は3,765百万円（前年同四半期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,443百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

当社グループのセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内土木事業)

海上土木分野を中心に、港湾・鉄道・道路などのインフラ・社会資本の整備に継続的に取り組んでおります。新型コロナウイルスによる大きな影響はみられず、施工は順調に推移しているものの、前年同四半期と比べて大きく売上高を計上する個別案件が少なかったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,051百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

一方で一部不採算工事の損益を改善できたことなどから、セグメント利益（営業利益）は3,325百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

なお、当社個別の受注高については、海上土木分野だけでなく、各高速道路会社をターゲットに道路工事の受注拡大に注力した結果、65,643百万円（前年同四半期比38.2%増）となりました。

(国内建築事業)

特命案件・企画提案案件・設計施工案件の受注拡大に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間の売上高は25,444百万円（前年同四半期比12.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,516百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。

なお、当社個別の受注高については物流、住宅分野を中心に30,231百万円（前年同四半期比42.5%増）となりました。

(海外事業)

東南アジアを中心に中東・アフリカなどにおいて、海上土木工事などに取り組んでおります。一部の国で新型コロナウイルスに起因する工事中断の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,960百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

工事の採算性も悪化し、セグメント損失（営業損失）は977百万円（前年同四半期はセグメント利益387百万円）となりました。

なお、当社個別の受注高については1,104百万円（前年同四半期比89.5%減）となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間の売上高は4,182百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は843百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5,412百万円減少し、197,245百万円となりました。これは、主に完成工事の工事代金の入金が進み、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較して7,432百万円減少し、126,059百万円となりました。これは、主に外注費等の仕入債務決済によって支払手形・工事未払金等が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,020百万円増加し、71,186百万円となりました。なお、自己資本比率は35.7%と、前連結会計年度末と比較して1.9ポイント増加しております。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、工事代金の入金等により2,486百万円の資金増加（前年同四半期は3,180百万円の資金増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、大型作業台船の建造費の支出等により1,525百万円の資金減少（前年同四半期は1,374百万円の資金減少）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により3,829百万円の資金減少（前年同四半期は3,487百万円の資金減少）となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末の残高は、前連結会計年度末に比べ2,869百万円減少し、40,877百万円（前年同四半期は30,058百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ、2020年6月22日に公表いたしました業績予想について、変更はありません。なお、通期個別受注予想については、16ページ「4. 補足情報（2）2021年3月期通期個別受注予想」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	43,767	40,897
受取手形・完成工事未収入金等	83,275	72,925
未成工事支出金等	7,310	8,942
販売用不動産	2,116	2,070
立替金	12,068	13,157
その他	5,372	10,378
貸倒引当金	△319	△319
流動資産合計	153,591	148,052
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,458	4,449
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	2,421	2,230
土地	18,683	18,671
その他	3,842	5,092
有形固定資産合計	29,405	30,444
無形固定資産	990	949
投資その他の資産		
投資有価証券	10,642	11,069
その他	8,581	7,281
貸倒引当金	△553	△552
投資その他の資産合計	18,670	17,798
固定資産合計	49,066	49,192
資産合計	202,657	197,245
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	34,796	28,288
電子記録債務	11,894	11,973
短期借入金	14,736	15,129
未払法人税等	1,051	942
未成工事受入金	10,105	14,179
預り金	21,161	23,594
完成工事補償引当金	586	559
工事損失引当金	2,630	1,921
施工不良関連損失引当金	1,500	842
その他	6,237	3,564
流動負債合計	104,699	100,995
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	12,734	9,584
再評価に係る繰延税金負債	2,320	2,320
退職給付に係る負債	5,351	4,816
役員株式給付引当金	36	44
その他	1,348	1,296
固定負債合計	28,791	25,063
負債合計	133,491	126,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,976	18,976
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	31,773	33,231
自己株式	△4,066	△4,061
株主資本合計	64,805	66,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,571	2,772
繰延ヘッジ損益	△27	△28
土地再評価差額金	3,659	3,659
退職給付に係る調整累計額	△2,547	△2,222
その他の包括利益累計額合計	3,656	4,180
非支配株主持分	703	736
純資産合計	69,166	71,186
負債純資産合計	202,657	197,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	83,876	82,639
売上原価	74,899	74,159
売上総利益	8,977	8,480
販売費及び一般管理費	5,466	5,186
営業利益	3,511	3,294
営業外収益		
受取利息	23	11
受取配当金	166	214
保険差益	—	518
その他	19	20
営業外収益合計	210	764
営業外費用		
支払利息	150	135
保証料	46	91
その他	245	66
営業外費用合計	441	293
経常利益	3,279	3,765
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	197	23
特別利益合計	198	23
特別損失		
固定資産売却損	—	2
投資有価証券売却損	72	19
減損損失	2	—
その他	201	2
特別損失合計	276	24
税金等調整前四半期純利益	3,201	3,764
法人税、住民税及び事業税	307	479
法人税等調整額	839	808
法人税等合計	1,147	1,287
四半期純利益	2,054	2,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,002	2,443

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,054	2,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	200
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	196	324
その他の包括利益合計	285	523
四半期包括利益	2,339	3,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,287	2,967
非支配株主に係る四半期包括利益	52	33

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,201	3,764
減価償却費	723	688
減損損失	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28	△534
施工不良関連損失引当金の増減額(△は減少)	△2,003	△657
受取利息及び受取配当金	△190	△225
支払利息	150	135
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	172	0
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△1	2
有形及び無形固定資産除却損	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	17,159	10,350
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△3,020	△1,632
販売用不動産の増減額(△は増加)	105	45
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,750	△6,494
立替金の増減額(△は増加)	2,711	△1,088
未成工事受入金の増減額(△は減少)	514	4,074
預り金の増減額(△は減少)	2,046	2,433
その他	△2,517	△7,898
小計	3,339	2,963
利息及び配当金の受取額	186	223
利息の支払額	△150	△140
法人税等の支払額	△194	△559
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,180	2,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,004	△1,490
有形固定資産の売却による収入	263	9
無形固定資産の取得による支出	△222	△86
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△96	△20
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	559	33
貸付金の回収による収入	125	9
その他	△1	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	△1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△942	—
長期借入れによる収入	810	—
長期借入金の返済による支出	△2,607	△2,756
自己株式の処分による収入	129	5
自己株式の取得による支出	△130	△0
配当金の支払額	△623	△980
その他	△123	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,487	△3,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,740	△2,869
現金及び現金同等物の期首残高	31,799	43,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,058	40,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社は、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として13年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を12年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大が会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、当社グループにおいては、海外の一部の工事について施工中断等の影響が生じております。前連結会計年度に仮定したとおり再開し始めた工事がある一方、再開していない一部の工事については施工中断等による影響が2021年3月までの一定期間続くものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断、固定資産の減損の判定及び工事原価総額について、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や収束時期等を予測することが難しい状況にありますので、将来における財政状態及び経営成績が、これらの見積り及び仮定とは異なる結果となる可能性があります。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内土木 事業	国内建築 事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	45,051	22,648	12,146	79,846	4,030	83,876	—	83,876
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	22	—	22	14,760	14,782	△14,782	—
計	45,051	22,671	12,146	79,868	18,791	98,659	△14,782	83,876
セグメント利益	2,799	1,332	387	4,518	787	5,306	△1,794	3,511

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、建設機械の製造・販売及び修理事業、PFI事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,794百万円には、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費△1,817百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内土木 事業	国内建築 事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	43,051	25,444	9,960	78,456	4,182	82,639	—	82,639
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	29	—	129	12,239	12,369	△12,369	—
計	43,151	25,474	9,960	78,586	16,422	95,008	△12,369	82,639
セグメント利益又は損失(△)	3,325	1,516	△977	3,863	843	4,707	△1,413	3,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、建設機械の製造・販売及び修理事業、PFI事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,413百万円には、セグメント間取引消去59百万円及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費△1,473百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に準拠して作成し、建設業法施行規則に準じて記載しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。なお、科目の区分掲記につきましては一部要約しております。

(1) (要約) 四半期個別貸借対照表

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)	増減
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
I 流動資産			
現金預金	39,838	37,409	△2,428
受取手形	1,897	1,798	△98
完成工事未収入金	76,428	68,110	△8,317
兼業事業未収入金	1,953	550	△1,403
未成工事支出金	5,645	6,288	643
兼業事業支出金	135	1,034	898
販売用不動産	2,009	1,964	△45
その他	18,210	24,487	6,277
貸倒引当金	△313	△313	0
流動資産合計	145,806	141,331	△4,475
II 固定資産			
1 有形固定資産			
土地	15,144	15,133	△10
その他	7,410	8,554	1,143
有形固定資産合計	22,554	23,687	1,132
2 無形固定資産	923	888	△34
3 投資その他の資産			
投資有価証券	10,059	10,479	420
繰延税金資産	4,998	4,071	△926
その他	5,114	4,799	△314
貸倒引当金	△553	△552	0
投資その他の資産合計	19,618	18,798	△820
固定資産合計	43,097	43,374	277
資産合計	188,903	184,705	△4,197

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)	増減
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
(負債の部)			
I 流動負債			
支払手形	4,020	3,386	△633
電子記録債務	14,310	14,331	21
工事未払金	26,459	21,886	△4,573
短期借入金	13,541	13,450	△90
未成工事受入金	9,813	13,387	3,574
完成工事補償引当金	586	559	△27
工事損失引当金	2,612	1,899	△713
施工不良関連損失引当金	1,500	842	△657
その他	31,772	31,764	△7
流動負債合計	104,616	101,509	△3,106
II 固定負債			
転換社債型新株予約権付社債	7,000	7,000	—
長期借入金	11,588	9,222	△2,365
再評価に係る繰延税金負債	2,320	2,320	—
退職給付引当金	1,203	1,125	△77
役員株式給付引当金	36	44	7
その他	213	190	△23
固定負債合計	22,362	19,904	△2,458
負債合計	126,978	121,413	△5,565

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)	増減
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金	18,976	18,976	—
2 資本剰余金			
資本準備金	4,744	4,744	—
その他資本剰余金	13,429	13,429	—
資本剰余金合計	18,173	18,173	—
3 利益剰余金			
その他利益剰余金			
別途積立金	14,000	14,000	—
繰越利益剰余金	8,300	9,337	1,037
利益剰余金合計	22,300	23,337	1,037
4 自己株式	△3,539	△3,534	5
株主資本合計	55,910	56,953	1,042
II 評価・換算差額等			
1 その他有価証券評価差額金	2,381	2,708	326
2 繰延ヘッジ損益	△27	△28	△1
3 土地再評価差額金	3,659	3,659	—
評価・換算差額等合計	6,013	6,339	325
純資産合計	61,924	63,292	1,367
負債純資産合計	188,903	184,705	△4,197

(2) (要約) 四半期個別損益計算書

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
I 売上高	80,502	79,003	△1,498
II 売上原価	72,571	71,668	△902
売上総利益	7,931	7,334	△596
III 販売費及び一般管理費	4,992	4,760	△231
営業利益	2,939	2,573	△365
IV 営業外収益	211	764	552
V 営業外費用	418	278	△139
経常利益	2,732	3,059	326
VI 特別利益	197	23	△173
VII 特別損失	261	24	△237
税引前四半期純利益	2,667	3,058	390
法人税、住民税及び事業税	112	224	112
法人税等調整額	817	794	△22
法人税等合計	929	1,018	89
四半期純利益	1,738	2,040	301

4. 補足情報

(1) 2021年3月期第2四半期累計期間の個別売上高・受注等の概況

①個別売上高

(単位：百万円)

区 分		前事業年度 (2019.4.1~2019.9.30)		当事業年度 (2020.4.1~2020.9.30)		増減	増減率
		金額	(構成比率)	金額	(構成比率)		
完成 工事 高	土木	国内官公庁	33,320 (41.4 %)	31,756 (40.2 %)	△1,564	△4.7 %	
		国内民間	11,287 (14.0)	10,739 (13.6)	△548	△4.9	
		海外	11,259 (14.0)	9,829 (12.4)	△1,429	△12.7	
		計	55,868 (69.4)	52,325 (66.2)	△3,542	△6.3	
	建築	国内官公庁	2,196 (2.7)	907 (1.1)	△1,289	△58.7	
		国内民間	20,423 (25.4)	24,472 (31.0)	4,048	19.8	
		海外	805 (1.0)	36 (0.1)	△769	△95.5	
		計	23,426 (29.1)	25,415 (32.2)	1,989	8.5	
	合計	国内官公庁	35,517 (44.1)	32,663 (41.3)	△2,854	△8.0	
		国内民間	31,711 (39.4)	35,211 (44.6)	3,499	11.0	
		海外	12,065 (15.0)	9,866 (12.5)	△2,199	△18.2	
		計	79,295 (98.5)	77,741 (98.4)	△1,553	△2.0	
	開発事業等	573 (0.7)	844 (1.1)	271	47.3		
	不動産等売上高	634 (0.8)	417 (0.5)	△216	△34.2		
	合計	80,502 (100.0)	79,003 (100.0)	△1,498	△1.9		

②個別受注高

(単位：百万円)

区 分		前事業年度 (2019.4.1~2019.9.30)		当事業年度 (2020.4.1~2020.9.30)		増減	増減率
		金額	(構成比率)	金額	(構成比率)		
建設 事業	土木	国内官公庁	30,721 (38.8 %)	44,905 (46.3 %)	14,183	46.2 %	
		国内民間	14,561 (18.4)	18,345 (18.9)	3,783	26.0	
		海外	10,339 (13.0)	834 (0.9)	△9,504	△91.9	
		計	55,623 (70.2)	64,085 (66.1)	8,462	15.2	
	建築	国内官公庁	3,493 (4.4)	251 (0.2)	△3,241	△92.8	
		国内民間	17,650 (22.3)	29,921 (30.9)	12,270	69.5	
		海外	23 (0.0)	219 (0.2)	195	832.6	
		計	21,166 (26.7)	30,391 (31.3)	9,224	43.6	
	合計	国内官公庁	34,214 (43.2)	45,156 (46.5)	10,941	32.0	
		国内民間	32,212 (40.7)	48,266 (49.8)	16,054	49.8	
		海外	10,363 (13.0)	1,054 (1.1)	△9,309	△89.8	
		計	76,789 (96.9)	94,476 (97.4)	17,686	23.0	
	開発事業等	2,428 (3.1)	2,502 (2.6)	74	3.1		
	合計	79,218 (100.0)	96,979 (100.0)	17,760	22.4		

③個別手持高

(単位：百万円)

区 分		前事業年度 (2019.9.30現在)		当事業年度 (2020.9.30現在)		増減	増減率
		金額	(構成比率)	金額	(構成比率)		
建設 事業	土木	国内官公庁	80,993 (36.5 %)	89,152 (33.3 %)	8,159	10.1 %	
		国内民間	24,698 (11.2)	24,196 (9.0)	△502	△2.0	
		海外	58,947 (26.7)	88,586 (33.1)	29,639	50.3	
		計	164,639 (74.4)	201,935 (75.4)	37,296	22.7	
	建築	国内官公庁	10,478 (4.7)	6,049 (2.3)	△4,429	△42.3	
		国内民間	43,025 (19.5)	56,928 (21.2)	13,902	32.3	
		海外	150 (0.1)	238 (0.1)	88	59.1	
		計	53,654 (24.3)	63,216 (23.6)	9,561	17.8	
	合計	国内官公庁	91,471 (41.2)	95,201 (35.6)	3,729	4.1	
		国内民間	67,724 (30.7)	81,124 (30.2)	13,399	19.8	
		海外	59,097 (26.8)	88,825 (33.2)	29,728	50.3	
		計	218,294 (98.7)	265,152 (99.0)	46,858	21.5	
	開発事業等	2,872 (1.3)	2,731 (1.0)	△141	△4.9		
	合計	221,166 (100.0)	267,883 (100.0)	46,717	21.1		

(2) 2021年3月期通期個別受注予想

	受注高	
2021年3月期予想	235,000 百万円	13.2 % (前年同期比増減率)
2020年3月期実績	207,646	△3.6

[個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等]

当第2四半期累計期間の個別受注実績につきましては、国内土木事業が順調に増加したこと等により、前年同四半期比22.4%の増加となりました。今後の受注につきましても堅調に推移することが見込まれるため、通期の個別受注予想につきましては、2020年6月22日に公表いたしました2,000億円を上回り、2,350億円を見込んでおります。

なお、上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の受注実績は、今後の新型コロナウイルス感染症の動向を含め、さまざまな要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。